

■■■ 「日韓移民ユースエンパワメントのためのディーセントワーク推進プロジェクト」を終えて ■■■

トヨタ財団の助成を受けて、2年間実施していた「日韓移民ユースエンパワメントのためのディーセントワーク推進プロジェクト」が10月末で終了しました。

事業の締めくくりのシンポジウム開催のために、9月14日(金)～9月18日(火)まで、すたんどばいみー、KFCのメンバー等10名が韓国を訪問しました。今回は台風による関空浸水で、飛行機が飛ぶかどうかかわからず、シンポジウムで登壇できないかもしれないという不安が出発前日までありましたが、遅い便に変更せざるを得なくなったものの、とりあえず無事出発することができました。

15日(土)は早速、延世大学校でのシンポジウムでした。韓国からはアジア人権文化連帯のイ・ジョンウン氏から「違いを尊重しながら一緒に住む世界」、日本からはすたんどばいみーのチューブ・サラーン氏から「日本におけるニューカマーの子どもたちの状況」の発表がありました。

午後のパネルディスカッションは「移住民と先住民(主流社会)のエンパワメントを仕事にする」というテーマで、韓国からカン・スルキ氏(議政府EXODUS)とチャン・ガヨン氏(アジア人権文化連帯)、日本からは宮脇英理氏(すたんどばいみー)、私の4人が登壇し、それぞれの立場から話をしました。

外国人支援事業をディーセントワークに育てることの難しさ、それゆえ日本でも韓国でも主たる生計者ではない女性が従事することが多いという問題点などのコメントが、コメンテーターのキム・ヒョンミ延世大学教授、柏崎千佳子慶応大学教授からありました。

若い参加者が多く、また活発に質問もあり、事業の締めくくりとしては非常にいいシンポジウムになりました。

この日の夜は、バングラデシュからの移住民による演劇公演「私の町の食堂」を観劇しました。韓国語のみの公演でしたが、移住民の生活や文化、移住民の苦労を垣間見ることができる公演で、とても面白かったです。

別の日には、朝鮮戦争後のハーフ孤児に力を尽くしたパール・S・バック記念館視察、外国にルーツを持つ子どもが多く居住する富川市にある「セゲロ地域児童センター」の見学と子どもたちと交流する時間がありました。フィリピン、ベトナムにルーツを持つ子どもたちが、韓国のホットケーキのようなおやつ「ホットク」の作り方を教えてくれて、一緒に作りました。また交通マナーに

■■■ KFC日本語プロジェクト ■■■

◆日本語コーディネーターフォローアップ研修を受けて

8月30日、文化庁の日本語コーディネーターフォローアップ研修に参加してきました。ニュースでも報道されているように、今後外国人が増えることに伴い、地域の日本語教室だけでなく多文化共生事業に積極的に力がかかろうとしているということのようでした。日本語学習がますます必要になってくるのも、国内海外ともに日本語教師の数が足りていないし、ボランティアにも大いに活躍してほしいという活動は大変参考でした。文部科学省は新たに高校生に対する支援枠を増設するとのことでした。

日本語教育については、学習者を①生活者としての外国人、②留学生、③児童・生徒に大別し、それぞれに学習目標、学習形態、学習方法が異なることや、それぞれに合ったやり方で日本語教育をするべきだと言っていました。入国者すべての人に共通する、生活するためのベースの日本語学習については文化庁で冊子としてまとめているので参考にしたいとのことでした。

この国会でも審議されて韓国外国人の入国政策は、私たちの支援にも大きく関わることです。研修を受けて大規模な教育変化を余儀なくされていることに戸惑いつつ、どのようにするのがいいか考えています。皆さんは学習のクラスや地域の変化を感じられますか？どのような意見をお持ちで

しょうか？「自分たちの地域の住民の一人として多文化共生社会を整えよう」「日本語を教える技術をもっと身につけよう」「外国人の労働力がないと日本の産業は立ち行かない、そのための門戸は必要だ」などの色目や髪をボタンや毛糸を使って国・地域の多文化共生は進むのでしょうか？何をひいていかなければいけないのか改めて考えています。日々の日本語教室は明るく楽しい声で溢れています。その笑い声をもっと大きくしていければと思っています。（奥 優伽子）

■■■ K F C 外国にルーツを持つ子どもの学習支援 ■■■

◆KFC・てんりん日本語教室「たのしく にほんご」が始まりました！

10月1日（月）から豊田區にある神視保育園において日本語教室を開始しました。毎週1回、月曜日の夕方5時から6時まで外国にルーツを持つ子どもを迎えに来た保護者を対象に実施しています。神視保育園にはベトナム人の子どもが多く通っており、先生方とベトナム人の保護者の間でのコミュニケーションをより進めることが課題となっています。ベトナム人の保護者のみなさんにコミュニケーションの場を設けたいという声がありました。そこで、今回の事業で得た知識や情報を次の事業に繋げていきたいと思います。（志岐 良

1回目の教室を迎える前に、参加表明をしてくれた方々5名と話す機会を持ちました。皆さんに話を聞いていると、すでに日本で生活しているので、「自分にとって必要な日本語」を使うことはできるようですが、しかし、仕事や買い物、病院に行くときや、子どもとの会話で日本語をもっと使えるようになりたいという声がありました。また、話すことはできても、日本語の文字については練習をしたことがないという人もいれば、かつてひらがなやカタカナを勉強したことがあるが、忘れてしまったという人もいました。

そこで、教科書としては『NEJ—テーマで学ぶ基礎日本語—』（Vol. 1：ベトナム語版）を用いて、自己表現活動を行うことにしました。毎回、教科書の登場人物が自分について語る例文をもとに、自分が使いたいと思う表現を使って文章を書きます。この際、普段使用している日本語も文字で書くとどうなるかを確認していきます。これまで「わたしの家族」「好きなこと、好きなもの」「わたしの一日」というテーマについて学習しました。その際に、類義語の違いなど、普段から気になっていた疑問を解決することもあります。毎週1時間という短い時間ですが、皆さんが日本語を使って、ベトナムや日本での経験について共有してくれるので、楽しい時間を過ごしています。

（担当講師：大阪大学大学院言語文化研究科言語文化専攻博士後期課程 林 貴哉）

■■■ ハナの会 ■■■

◆秋の遠足 須磨水族園へ～2018年10月16日—18日～

今回の秋の遠足は、今年からリニューアルに向かって大規模な工事をするため一旦閉園されるとのことで、その前に行っておこうと須磨水族園に決定しました。

3日間とも秋晴れでした。いつも通りデイで昼食を食べるまで過ごし、お昼から神戸市立須磨水族園へ出発、車で10分ほどとても近かったのが良かったです。デイの中では歩行できても、外出時には長く歩けなくなっている方が増え、車イスでの移動も増えました。

今回は利用者様からの感想を紹介します。

T. I様 「初めて水族園に行って楽しかった。イルカショーがとてもよかったです」
K. K様 「何回も水族園に行ったことがあるけど、やっぱりイルカショーが一番ですね」
E. H様 「本当に疲れて大変でしたが魚を見るためにいっぱい歩きました」（鮑 少君）

■■■ KFC中国帰国者支援事業 ■■■

◆私の経歴

私は1959年中国黒龍江省で生まれました。母は日本人残留婦人のため、母を扶養するために、国費で家族で初めて日本に来たのは、1996年4月10日でした。私の家族は、母、妻、子ども2人と私で5人ですが、最初は大阪市淀川区十三元今里3丁目にある大阪中国帰国定着促進センターの日本語指導部で4ヶ月学習しました。同年8月兵庫県加古川市平岡町平岡団地に引っ越しし、神戸市灘区の日本語学校に入学して一生懸命勉強して日常会話もできるようになりました。1998年に学校の先生の紹介で加古川市にある松山工業株式会社に入社しました。会社はプレス及び製缶、加工ですが、私は最初の4年間は仕上げを任せられ、そのあとプレス作業、4本ローラによる曲げ加工を5年間担当しました。しかし、2007年8月松山工業株式会社が経営不振により倒産してしまい、退社することになりました。

それから、ハローワークに何度も通い仕事を探しましたが、この歳で、資格もなく再就職が大変難しく面接を受けても落ちるばかりでした。その時、母はもう85歳の高齢で、妻は体が弱く仕事ができなく、長男は専門学校に進学し、二男も県農高校に入学していたので、最も大変で困る時期でした。私は自分の中で決心し、日本の先進技術を学び、就職したいと思い、ポリテクセンターに入学しました。2008年努力が実り、多くの資格を取得することができました。取得した資格は、アーク溶接適格性証、ガス溶接、玉掛けと床上操作式クレー技能講習修了証、ステンレス銅溶接適格性証、半自動溶接適格性証、動力プレス証です。私は仕事への情熱は誰にも負けない自信があります。仕事を選ばず何事も前向きに挑戦し、技能と技術の幅を広げ仕事ができる社員になりたいと思っていました。

資格持ちの強みを活かし、姫路市西脇にあるプレス製造する富士スチール工業株式会社に再就職することができました。3年間働いていましたが、突然病気になってしまい、やむを得ずに会社を辞めました。現在は帰国者たちと一緒に日本語を勉強し、交流会に参加することが楽しみです。（郭 振奪）

■■■ グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ ■■■

◆秋の遠足～神戸どうぶつ王国～

今年の秋の遠足は、『神戸どうぶつ王国』へ行きました。小規模多機能・グループホーム全館あげての遠足になりました。

しかしながら、利用者様は全員車椅子。歩ける方も一日を通して歩くことは難しく、1対1の介助が必要です。当日出勤の職員だけでは、とうてい人数が足りず、家族様や訪問看護はれの看護師さん、休みの職員にも助けをいただき必要な介助者を確保できました。

どうぶつ王国につくと「おおきいね」「あれ見てみ～」「かわいいなあ」と他のフロアーの利用者様同士の会話も聞こえてきました。みなさん笑顔で、きれいな花やめずらしい鳥を見てとても喜んでおられました。

施設に戻ってからも『今日は本当に楽しかった。神戸じゃないどこかの外国に行ったみたいだった』、夜勤者が出勤すると『今日いいところに連れて行ってもらったよ』と話されているのを見て今回の遠足を実施できて良かったと思いました。

冬が終わって春になったら、次は桜をみんなで見に行こうねと約束しました。（グループホームハナ3F 中井 伸枝）

■■■ 今後の予定 ■■■

■日本語プロジェクト研修会

11月24日(土) 13:30-16:30

「外国人の生活背景を知り何ができるか考えましょう！」

12月1日(土) 13:30-16:30

「外国人の生活課題を知り何ができるか考えましょう！」

12月22日(土)「生活漢字」出前講座

■縁会事業

11月27日(火)、12月11日(火)、12月25日(火)

■KFC帰国者新長田交流会

11月25日(日) 10:23- ふたば文化祭に出演

於 ふたば学舎

12月9日(日) 13:00～15:30 カラオケ大会

於 デイサービスセンターハナの会

■デイサービスセンターハナの会

12月17日、18日、20日 クリスマス会

■グループホーム・小規模多機能型居宅介護ハナ

11月21日(水) 合同運動会

12月25日(火) 合同クリスマス会